



アクサ生命

Company Profile 2024

会社案内

OUR PURPOSE

— パーパス 私たちの存在意義 —

Act for human progress by protecting what matters.

すべての人々のより良い未来のために。私たちはみなさんの大切なものを守ります。

VISION

Payer to Partner

保険金・給付金をお支払いする「ペイヤー」の役割を超え、
より良い人生、より良い社会づくりに寄り添う「パートナー」となります。

STRATEGY

Unlock the Future

日本では、Unlock the Future に基づく
戦略計画「AXA Japan 2026」を策定し、実行しています。

OUR VALUES



お客さま第一



勇気



誠実



ひとつのチーム



アクサは1817年にフランスで生まれ、世界**51**の国と地域、約**9,400**万人のお客さまにサービスを提供する、
保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。

アクサグループ2023年実績

S&P保険財務力格付

AA-

Moody's保険財務格付

Aa3

総売上 約**15兆6,184**億円
(約1,027億ユーロ)

運用資産総額 約**147兆2,434**億円
(約9,455億ユーロ)

純利益 約**1兆929**億円
(約72億ユーロ)

アンダーライニング・
アーニングス 約**1兆1,560**億円
(約76億ユーロ)

アクサ生命2023年実績

総資産 **8兆4,945**億円

保険料等収入 **8,885**億円

個人保険・個人年金保険の
保有契約件数 **561**万件

ソルベンシー・
マージン比率 **607.5%**

基礎利益 **804**億円

S&P保険財務力格付け **A+**

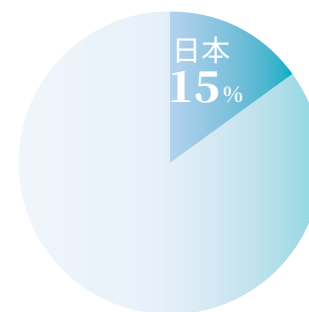
従業員数 **7,933**人

アクサグループにおける日本の位置付け

アクサグループのアンダーライニング・アーニングスにおいて、日本はグループの生命保険事業全体の15%を占めています。また、死亡・医療保障分野の総売上は、グループの10%を占める規模となっています。保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーであるアクサにおいて、日本は大きく貢献しています。

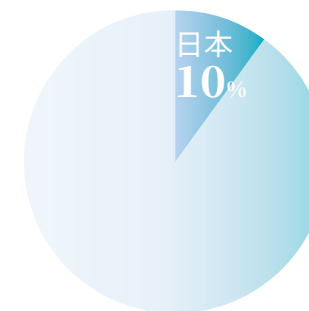
2023年度生命保険事業の
アンダーライニング・アーニングス

グループ全体
32億ユーロ



2023年度死亡・医療保障分野の総売上

グループ全体
480億ユーロ



アクサグループ2023年実績

※ 換算レート

総売上、アンダーライニング・アーニングス、純利益：1ユーロ＝¥152.030 (2023年平均) 運用資産総額：1ユーロ＝¥155.730 (2023年12月末)

※ 標記の格付けはアクサ生命の格付けではありません。S&P Global Ratings、Moody's Investors Serviceの格付けは、アクサグループの主要な子会社に対する格付機関の評価日時点 (S&P Global Ratings:2024年3月7日、Moody's Investors Service:2022年7月1日)のものであり、

保険金支払等について保証を行うものではありません。また、将来的には変化する可能性があります。なお、これらの格付機関は、日本において金融商品取引法第66条の27に基づく登録を行った信用格付業者ではありません。

アクサ生命2023年実績

※アクサ生命の格付けは2024年3月15日時点の評価であり、将来的には変化する可能性があります。また、格付けは格付機関 (S&Pグローバル・レーティング・ジャパン株式会社) の意見であり、保険金支払い等についての保証を行うものではありません。

アクサグループの日本における事業展開



アクサグループは日本において、保険事業、資産運用事業など、多岐にわたるビジネスを展開しています。

保険事業では2019年4月に持株会社であるアクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社を設立し、アクサ生命およびアクサ損害保険を子会社としています。

保険2社が相互に連携を深めるとともに、その他のアクサグループの日本におけるメンバーカンパニーと密接に連携しながら、お客さまをリスクからお守りするための商品・サービスをご提供しています。

●その他のメンバーカンパニー

＜資産運用サービス＞アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

＜不動産投資・資産管理サービス＞アクサ・リアル・エステート・インベストメント・マネージャーズ・ジャパン株式会社

＜その他のサービス＞アクサ・ライフケア株式会社※、XLカトリンジャパン株式会社、アクサ・ウェルス・マネジメント株式会社※

※アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社の子会社です。

アクサ生命は、4つの販売チャネルを通じて、
お客さまの多様なニーズにお応えしています。

専属営業社員による営業チャネル

アクサCCIチャネル

全国各地の商工会議所や商工会の共済制度や福祉制度の引受保険会社として、専門知識を持った専任の営業社員を通じて、経営者のリスク対策、事業承継対策、従業員の福利厚生プランのご提案、健康経営※の実践支援などを行っています。

アクサFAチャネル

ファイナンシャル・プランニングの知識を持つ専門の担当者が、お客さまのライフマネジメント®（人生を経営する）へのアドバイスを通じて、お客さまのニーズに合わせたソリューションをご提供する、付加価値の高いコンサルティングサービスを行っています。

保険代理店・金融機関代理店を通じた営業チャネル

アクサパートナービジネスチャネル

保険専業代理店や保険ショップなど、全国約3,000のプロフェッショナルな代理店ならびに銀行・信用金庫・信用組合などの金融機関を通じて、個人・法人のお客さまに対するリスクマネジメント、コンサルティングサービスを行っています。

既存チャネルの枠を超えた新たな価値を創造する営業チャネル

アクサMCVPチャネル

MCVP (Multi Channel Value-up Program) ビジネスモデル、健康経営ビジネスモデル、事業継承、ライフマネジメント®を推進することにより、経営者や従業員とご家族のライフマネジメント®（人生を経営する）をサポートしています。

※健康経営は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

アクサグループと日本におけるアクサの歩み

日本団体生命保険
株式会社設立

商工会議所共済制度
の取扱開始

日本初 医療保険を
販売開始

アクサ生命保険
株式会社設立

アクサ生命と
日本団体生命の資本提携

札幌本社設立

健康経営の
取り組み開始

アクサ生命と
アクサダイレクト生命の合併

1934 1967 1976 1994 2000 2014 2015 2024

AXA Japan
AXA Group

1817 1985 1996 2006 2018 2020

保険会社アンシャンヌ・
ミュチュエル・ドゥ・ルーアン設立

アクサに社名変更

元フランス国営保険グループUAPと合併、
世界最大規模の保険グループへ

ウインタートウル・スイス・インシュランスの
株式を取得

XLグループ統合

パーパスを公表

1991~

アクサハーツインアクション



アクサハーツインアクションは、従業員が地域社会の課題解決に寄り添い、時間を寄付するボランティアプログラムとして、1991年に創設されました。コーポレート・レスポンスビリティのマテリアリティ領域である「社会的公正の是正とインクルージョン」、「気候変動と環境」、「健康と病気予防」を中心に、活動を展開。38か国からの55,000人を超えるボランティアで構成され、障がい者や環境問題、リスクを予防する教育などの取り組みを支援しています。

2008~

アクサリサーチファンド



2008年、アクサは「環境」、「健康」、「テクノロジーとデータ」、「社会・経済」に関するリスクの理解と予防をテーマにした基礎研究を支援する「アクサリサーチファンド」を設立しました。日本ではこれまで5つのプロジェクトに約3億円を拠出しています。2020年には、新型コロナウイルスの感染拡大に対応するため、巴斯ツール研究所のパンデミックに対応するプロジェクトを支援しました。

2021

AXA for Progress Indexの公表



アクサは、サステナビリティ戦略の進捗を測定し、その影響を強化するためのツールとしてAXA for Progress Indexを公表しました。
気候変動と包括的な保護を柱とするサステナビリティ戦略の影響を評価するため、保険会社として、投資家として、模範的企業として、それぞれの立場で7つの測定可能なコミットメントを掲げ、このインデックスを通じてモニタリングします。さらに7つのコミットメントのうちこのインデックスは5つが地球温暖化に関連しているため、気候は特に重要となっています。アクサのパーパスである「Act for human progress by protecting what matters」に基づいた戦略計画「ドライビング・プログレス2023」に沿ったものとなっています。



DNA



保険と資産運用のコアビジネスで培ってきた知見、リスクの専門家としてのノウハウ、グローバルな保険グループとしての地理的多様性、強固な財務基盤を強みとして、世界各地で従業員が地域社会のために時間を寄付するボランティアの取り組みを地域に根差して継続してきました。2008年には基礎研究を支援するアクサリサーチファンドを設立。2009年にはコーポレートレスポンスビリティ（CR）を経営戦略に組み込み、各国ごとに本業のバリューチェーンの中で社会的課題の解決に資する取り組みを推進しています。国連や国際的なNGOとも連携し、地球規模での課題と向き合うグロー

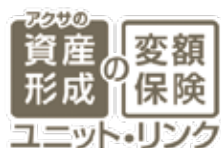
バルな取り組みも積極的に進めています。また、日本では1934年以来、団体保険のパイオニアとして培ってきた企業福利に関する知見を活かし、1967年には商工会議所共済制度を受託開始、1976年には業界に先駆けて医療保険を開発するなど、企業や官公庁、団体における福利厚生制度の基盤構築に注力してきました。さらに、1986年には変額保険を、2001年には長期積立分散投資の草分けとなるユニット・リンク保険を開発し、高齢社会における資産形成をサポートしてきました。2011年のガン治療保険販売開始以降、医療治療保障分野の商品開発にも注力してきました。



アクサ生命は、
ユニークな販売基盤と社会の要請にこたえる商品・サービス、
卓越した企業福利やライフプランのアドバイス能力を活かして、
地域のステークホルダーと連携し、アクサならではの価値をお届けしています。

多様なお客さまニーズに、多様なソリューションを

変額保険



アクサの「資産形成」の変額保険
ユニット・リンク
正式名称：
ユニット・リンク保険（有期型）



アクサの「資産形成」の変額保険
ユニット・リンク介護プラス
正式名称：
ユニット・リンク介護保険（終身移行型）



アクサの「保障重視」の変額保険
ユニット・リンク定期
正式名称：
ユニット・リンク保険（定期型）



アクサの「保障重視」の変額保険
ユニット・リンク長期入院一時金プラス
正式名称：
継続入院収入支援ユニット・リンク定期保険

2009年より保険本来の目的である「死亡保障」機能と長期分散積立投資による「資産形成」機能を両立させた『アクサの「資産形成」の変額保険 ユニット・リンク』を、2019年より「死亡保障」・「資産形成」の機能に加えて一生涯の「介護・認知症保障」機能を有する『アクサの「資産形成」の変額保険 ユニット・リンク介護プラス』を販売しています。



アクサの保険料払込免除特約
ワイドケア
正式名称：

3大疾病保険料払込免除特約、7大疾病保険料払込免除特約

2021年には、両商品に付加できる「アクサの保険料払込免除特約 ワイドケア」を新設しました。この特約を付加することで、3大疾病（がん、脳卒中、心筋梗塞）、または7大疾病（3大疾病に加えて糖尿病、高血圧性疾患、肝硬変、慢性腎臓病）に罹患され、所定の要件に該当された場合でも、保険料負担なく契約をご継続いただくことが可能となります。

2021年、変額保険の特徴を活かして死亡保障を合理的な保険料でご提供することができる定期保険『アクサの「保障重視」の変額保険ユニット・リンク定期』を発売しました。法人のお客さまには「経営リスク」の備えとして事業継続資金や死亡退職金・弔慰金の準備などに、個人のお客さまには「長期保障」として遺されたご家族の生活費の準備や相続対策などにご活用いただけます。

近年、入院日数は短期化傾向にありますが、入院の約3分の1は14日以上長期入院です※。病気によっては入院がさらに長引くこともあり「お客様が本当にお困りの際に役立つ保障を提供したい」との想いから、変額保険を通じて合理的な保険料で長期入院時のリスクに備えられる商品として、2022年『ユニット・リンク長期入院一時金プラス』を開発いたしました。

※出典：厚生労働省「令和2年 患者調査」をもとにアクサ生命が作成



アクサメディカルアシスタンスサービス

アクサ生命は、病気の予防や早期発見から病気になったときのサポート、治療後の回復や心のケアに至るまで、『アクサメディカルアシスタンスサービス』でお客さまを支え、生活の質（QOL）の向上のお役に立つことを目指しています。

- ・オンライン健康相談サービス
- ・セカンドオピニオンサービス
- ・介護・リハビリサポートサービス
- ・メンタルサポートサービス
- ・24時間電話健康相談サービス
- ・糖尿病サポートサービス
- ・郵送検査キットによる血液検査サービス

医療保険・がん保険



アクサの「一生保障」の 医療保険スマート・ケア

正式名称：
医療治療保険（無解約払いもどし金型）



アクサの「一生保障」の 医療保険スマート・ケアwith You

正式名称：
限定告知型終身医療保険（無解約払戻金型）



アクサの「治療保障」の がん保険 マイ・セラピー

正式名称：
ガン治療保険（無解約払いもどし金型）

アクサのネット完結保険

アクサのネット完結保険は、日本初のインターネット専業生命保険会社アクサダイレクト生命がアクサ生命と合併したことにより、2024年4月より販売を開始しました。

『アクサの「一生保障」の医療保険スマート・ケア』は、平均在院日数の短期化や入院費用の高額化など、医療環境の変化に対応した次世代型の医療保険をコンセプトに、2017年に発売しました。2020年には、認知症に関する社会的課題に注目し、認知症になっても、できるだけ「その人らしい」生活を送っていただくための支援が受けられるよう、「認知症一時金特約」を新設したほか、通院給付を一時金化することにより、お客さまの給付金請求の利便性を向上させました。また併せて、MCI（軽度認知障害）および認知症の予防・早期発見につながるセルフチェックや専門相談のサービスも提供しました。

2018年に販売を開始した健康状態に不安を抱えるお客さま向けの『アクサの「一生保障」の医療保険スマート・ケアwith You』は、2020年に告知事項の見直しを行い、よりご加入いただきやすくなりました。付帯サービスや特約の付加により、予防から早期発見・早期治療、リハビリサポートまで、包括的な保障とサービスの提供も開始しました。

2019年、最新のガン治療に対応するため、『アクサの「治療保障」のがん保険 マイ・セラピー』を発売しました。新たな「ガン・上皮内新生物一時金特約」で、ガン診断確定時にまとまった一時金を受け取ることができ、入院の有無にかかわらず、手術・放射線治療・化学療法・緩和ケアまで、多様化した最新のガン治療を保障します。マイ・セラピー専用の付帯サービスでは、ガンにかかった後の治療生活の支援のほか、「ガンに罹患しない」ためのサポートも行います。2020年には「ガン・上皮内新生物一時金特約」の上限額を引き上げ、ガンにかかった場合の備えをより充実したものにできるようになりました。

シンプルで合理的かつ手頃な保険商品と、デジタル技術を活用した便利で革新的なサービスをご提供しています。

- 定期保険（無解約返戻金型）
- 医療保険（定期型）
- 就業不能保険（無解約返戻金型）
- 収入保障保険（無解約返戻金型）
- がん保険（終身型）
- 引受基準緩和型定期保険（無解約返戻金型）
- 終身医療保険（無解約返戻金型）
- がん保険（定期型）
- 引受基準緩和型終身医療保険（無解約返戻金型）

インクルージョン&ダイバーシティ(I&D)の取り組み

アクサは、すべての人が尊重され、自分らしくいられることで、いきいきと活躍できる「あたりまえに混ざる社会」づくりを目指した取り組みを行っています。

多様性を柔軟に受け入れ、強みに変える企業文化を醸成し、インクルーシブな地域社会の構築を目指して、社会啓発にも注力しています。

ブラインドサッカーの支援



©JBFA/H.Wanibe

2006年からブラインドサッカーの支援を継続し、大会などへの従業員のボランティアの派遣のほか、選手の雇用やブラインドサッカーの普及・認知向上活動に協力しています。

2013年からは日本選手権を「アクサブレイブカップ」としてサポートし、あたりまえに混ざる社会の構築を目指す社会啓発に取り組んでいます。2017年から「アクサ地域リーダープログラムwithブラスカ」をスタートし、全国にブラインドサッカーチームの裾野を継続的に広げていくための取り組みも支援しています。

ジェンダー差別のない社会に向けて



LGBTQ+を含む多様な人々が「自分らしくいられる」社会を目指し、取り組みの範囲を拡大してきました。アクサ生命は、新卒採用において応募する学生に性別の記入や顔写真の提出を求めるプロセスを廃止しています。また、従業員は通称名での勤務が可能です。

具体的な取り組み

- **BME(Business for Marriage Equality) に賛同**
- **PRIDE 指標「ゴールド」を取得**

アクサ生命は2023年、LGBTQ+への取組指標であるPRIDE指標において、最高位である「ゴールド」を4年連続で取得しました。

ERG

[Employee Resource Group/従業員ネットワーク]



ERGとは、特定の属性を持つ従業員と、それに関心のある従業員が自発的に集まって組織するグループで、情報交換やネットワーキングにより、その属性に特有の課題を共有したりお互いのサポートし合ったりすることで解決しています。

そのような自主的な活動を会社がサポートすることで、従業員一人ひとりが輝くとともに、会社のインクルージョン&ダイバーシティを力強く推進しています。

LGBTQ+AXA Pride Japan	多国籍 EJCL×Kokusaidori
子育て世代 Working Parents	介護 Aging Parents Care - KAIGO
ジェンダー平等 Gender Empowerment Network	気候変動 Climate Family
手話文化の推進 Deaf Sign Language	

Well-being

健康で幸せな社会の実現に向けて

健康経営
アクサ式

ライフマネジメント®



健康経営アクサ式

企業に集う従業員と経営者がひとつのチームとなって、従業員それぞれが描く人生の夢の実現と、企業の持続的な発展を目指す本質的な健康経営に取り組む価値を、日本で働くすべてのの方々にお伝えすることを目的としています。アクサ生命は2024年3月、8年連続で経済産業省から従業員の健康



づくりと地域の中小企業への社会啓発を推進したとしてホワイト500に認定されました。

健康経営アクサ式 特設サイト▶



ライフマネジメント®とは

『人生の目的、人生のビジョンに基づいて、将来のあるべき姿を考え、そこに至る道筋を構想し、そして、その実現に向けて、現実と向き合って進んでいくこと』

私たちは、ライフマネジメント®のコンサルテーションを通じて、すべてのお客さまが人生を経営し、自信を持って人生の夢の実現に向けて歩んでいける社会をつくりあげることを目指します。

ライフマネジメント® 特設サイト▶



LME (ライフマネジメントナショナルエデュケーション)

地域のステークホルダーと連携し、高校生向けには金融経済教育の基盤となるライフマネジメント®のアクティブラーニングと金融リテラシーを向上させる出前授業を、教員向けには指導者研修を行っています。進学や職業選択など、人生の大きな岐路に立つ学生たちが、ライフマネジメント®の考え方を学び、実践することで、自信を持って理想とする人生を歩んでほしいという想いで実施しています。



LME 特設サイト▶



被災地からの学びを全国へ

2011年3月に発生した東日本大震災発災の翌月から、被災地の復旧・復興支援を目的とした「復興支援1件1ユーロ寄付キャンペーン」を開始。これまでに4億6千3百万円を寄付しました。（2024年2月末現在）
現在も新契約に連動した寄付キャンペーンを継続し、日本ユネスコ協会連盟が実施する「ユネスコ協会就学支援奨学金」と「アクサユネスコ協会減災教育プログラム」を支援しています。



アクサユネスコ協会 減災教育プログラム

東日本大震災の経験や教訓を伝承し、全国の小・中・高等学校、特別支援学校における減災教育をサポートすることを目的に、日本ユネスコ協会連盟と共同で企画し、2014年にスタートした教員向け研修プログラムです。みらいを担う子どもたちが、災害を生き抜く力を育み、持続可能な社会の創り手となるよう、減災教育の知見やノウハウを共有し、それぞれの地域特性に応じた取り組みを教育カリキュラムに落としこむための実践的なプログラムとなっています。

復興支援寄付キャンペーン 『みらいをつくろう』の継続

地域に根差した責任ある企業として、持続可能な地域社会づくりを支援するための復興支援寄付キャンペーンを継続的に実施しています。「みらいをつくろう!」というコンセプトには、地域福利の向上を通じて豊かで活気ある日本の明るいみらいづくりを応援したいという、日本での保険事業創業以来の思いが込められています。

アクサレディスゴルフ トーナメント in MIYAZAKI

東日本大震災被災地の復興支援、宮崎経済の活性化支援を目的に、2013年から本大会に特別協賛しています。東日本大震災で被災した子どもたちの就学支援のための寄付などを通じて、「みらい」を担う子どもたちを応援しています。

アクサの責任投資の取り組み

アクサ生命は、グループ内のリソースと専門知識を活用し、グループの方針に沿った資産運用を行っています。

ESGの投資プロセスへの統合

投資判断の際、「財務情報」に加えて企業のESG（環境・社会・ガバナンス）に関する取り組みを「非財務情報」として組み入れ、総合的に企業を評価します。

インパクト投資

ポジティブで測定可能かつ持続可能なインパクトを意図的に社会に与え、同時に投資リターンをもたらすインパクト投資に資本を配分しています。

気候変動に関連した ポートフォリオの調整

グリーン資産への投資割合を積極的に増やすために、野心的なグリーン投資目標を設定しています。

アクティブ・ スチュワードシップ

リスク・リターンの向上、受託者責任などを理由に、投資家が投資先への影響力を行使し、包括的かつ長期的な価値を最大化しています。

ESGに問題がある投資の排除

アクサのパーパスと相容れない、アクサのブランドや評判に悪影響を与える可能性がある、特定の企業や製品については、特定のセクターガイドラインを開発し、ビジネスの制限を実施しています。

グリーン投資目標と トランジション

低炭素ビジネスモデルに移行する企業を後押しするため、移行のための資金調達をサポートしています。

Act for human progress by protecting what matters.



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

NBFプラチナタワー

TEL 03-6737-7777（代表）

www.axa.co.jp



※アクサ生命は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。